



# 横浜市 技連協だより

第 24 号

平成 16 年 3 月 25 日

発行 横浜市技能職団体連絡協議会 発行責任者 会長 川上 三 寶  
事務局 横浜市技能文化会館内 〒231-8575 横浜市中区万代町 2-4-7  
電 話 045-681-6553 FAX 045-664-9400

## 平成十六年新春交流会開催



— あいさつされる中田 宏市長 —

日頃の横浜市技能職団体連絡協議会の活動に対するお礼と今日の厳しい経済状況の中で異業種の技能職者の連携によりそれぞれが力を十分に発揮して、この不況を乗り越えねばならないとあいさつがあり、「手仕事、手作業に携わる私たち職人は、「ものづくりの大切さ」や「本物の良さ」を伝え、後継者の育成に会全体で取り組んでいきたい」と力強い挨拶がありました。

来賓としてお招きした中田宏市長からは、技連協活

平成十六年二月二日（月）の研修会終了後、ホテル横浜ガーデンに会場を移して、午後四時三十分から平成十六年新春交流会を開催し、百名ほどが参加されました。開会にあたり、川上会長からは昨年のごはま技能まつり等、



— 親しく懇談される中田 市長 —

動の横浜市政に対しての深い理解と、暖かい支援に対してのお礼や、「今年、開国百五十年の年で、多くの技能は開港の地横浜から発展し、そのすばらしい技能を市民生活共通の財産として皆様、一人ひとりお持ちの卓越した技能を確実に継承していただきたい。また、優れた技を持ち真摯に取り組んでいる姿に感銘を受け、一つのことには情熱を持つ姿を多くの子どもたちにも是非見せていただき、日本のよき伝統を若い技能者に今後も伝えていただきたい」と期待のこもったご祝辞をいただきました。

この後、青年部の皆さんの進行で、大いに交流会を盛り上げることができました。

ご協力ありがとうございました。

## 技連協研修会の開催

平成十六年二月二日（月）、技能文化会館多目的ホールで、ハマふれんど事業主セミナーが開催され、技連協としても参加者総数百五十五人のうち七十二名が参加しました。

今回のセミナーは荒谷紘毅氏（株東京商工リサーチ情報事業統括本部取締役本部長）を講師に迎え、「どう生き残る？三度目の転換期」と題して、「これからの企業経営は、国際化・高齢化・環境がキーワード」、「経営者は、柔軟な発想のできる後継者の育成が大切」等、豊富な現場経験を踏まえた経営分析や今後の経済情勢を交えながらの熱のこもった講演には、参加された方も、外の寒さを忘れ熱心に聴き入っていました。



## 技能職資金融資の募集

横浜市では、技能職の振興や経済的支援を図るため、無利息・無担保の融資を行っております。融資には、業務用機械・器具等の購入資金として融資する設備資金と、業務用原材料の購入資金として融資する振興資金があります。

### ◇対象者

技能職者で市内で一年以上同一職業を営み、市内在住・在営の方。（ただし、二店舗以上経営又は経営しようとしている方、従業員が十人以上いる経営者の方は除きます。）

### ◇融資額等

資金	設備資金	振興資金
融資額	20万円～150万円 （対象経費の3分の2以内）	20万円～150万円
受付期間	5月7月9月11月1月3月	
用途	業務用機械・器具（新品）の購入 車輻（材料等の運搬用）、エアコン、内装施工を含む。	業務用原材料の購入
返済	6か月据置 50回月賦返還	2か月据置 20回月賦返還

### ◇お問合せ 横浜市市民局勤労福祉課

〒231-0017 横浜市中区港町一丁目  
TEL 045 (671) 23337  
FAX 045 (664) 91888

※市のホームページ (<http://www.city.yokohama.jp/me/shimin/kinpuku/kastuke.html>)でも詳しい内容をご覧いただけます。なお、申請書は勤労福祉課までお電話でご請求いただくか市のホームページからダウンロードできます。

平成十六年度

## 横浜マイスター

### 横浜市技能職団体の募集

横浜市では、手仕事・手作業を主体とし、習得に熟練を要する技能職者等の後継者育成のための活動する「横浜マイスター」（技能職者）と「横浜市技能職育成団体」（技能職者等で組織する団体）を募集します。

横浜マイスターに選定されると横浜マイスターの称号が授与され、毎年度五十万円を上限として五年度間、活動奨励金が支給されます。

また、横浜市技能職育成団体に選定されると単年度で二十万円を上限として、活動奨励金が支給されます。

現在三十人の横浜マイスターが、日々の後継者育成、地域や市・区行事での技能披露・講演会、学校等での技能指導に活躍中です。

◇申込み 四月二日（木）から五月十日（月）までに所定の用紙で市民局勤労福祉課へ。申込用紙は、ご来庁またはお電話でご請求いただくか、市のホームページからもダウンロードできます。

### ◇お問合せ 横浜市市民局勤労福祉課

〒231-0017 横浜市中区港町一丁目  
TEL 045 (671) 40988  
FAX 045 (664) 91888

### お知らせ

・勢津栄興氏 逝去  
平成十六年二月二十三日（月）、技連協理事（神奈川県中日調理師会会長・横浜マイスター）の勢津栄興氏が永眠されました。六十三歳でした。ご冥福をお祈りいたします。

## 第24回技連協ボウリング大会結果報告

### 団体の部 (1チーム4名の2ゲーム)

優勝	神奈川宝飾工芸組合 B	1,414ピン
2位	神奈川宝飾工芸組合 A	1,404ピン
3位	横浜市建設労働組合連合会 B	1,329ピン
4位	神奈川県洋服商工業協同組合	1,270ピン
5位	横浜市表装インテリア協会	1,245ピン
6位	横浜市建設労働組合連合会 A	1,228ピン
7位	横浜建具組合連合会 A	1,225ピン
8位	横浜市屋外広告美術協同組合 A	1,192ピン
9位	横浜市板金組合連合会 B	1,179ピン
10位	横浜市理容連合会	1,143ピン
11位	横浜シャツ商工組合	1,140ピン
12位	横浜建具組合連合会 B	1,121ピン
13位	横浜繊維加工協同組合	1,102ピン
14位	横浜市左官業協同組合	1,095ピン
15位	横浜食品煮豆惣菜組合	1,061ピン
16位	横浜市板金組合連合会 A	1,010ピン
17位	神奈川県印章業組合連合会青年部	1,006ピン
18位	横浜市屋外広告美術協同組合 B	992ピン
19位	横浜畳組合連合会	972ピン
20位	技連協青年部 A	969ピン
21位	技連協青年部 B	841ピン
22位	神奈川建築技術者協議会	716ピン

### 理事長賞

神奈川宝飾工芸組合 B

### 個人の部 (2ゲーム)

優勝	田中 義治	神奈川宝飾工芸組合 B	416ピン
2位	高田 誠	横浜建具組合連合会 A	411ピン
3位	林 雅樹	神奈川県洋服商工業協同組合	399ピン
4位	伊藤 伸明	神奈川宝飾工芸組合 B	376ピン
5位	赤羽 竜次	横浜市理容連合会	374ピン
6位	勝又 春雄	神奈川宝飾工芸組合 A	373ピン
7位	菅原喜一郎	神奈川宝飾工芸組合 A	372ピン
8位	高橋 雄二	横浜表装インテリア協会	364ピン
9位	和栗 衛一	横浜市板金組合連合会 B	363ピン

### ハイゲーム賞

伊藤 伸明 神奈川宝飾工芸組合 B 223ピン

### ブービー賞

臼井 瑞穂 技連協青年部 B 156ピン

### ラッキー賞

10位	杉崎 進	横浜市建設労働組合連合会 B	355ピン
20位	穴倉 岳	横浜畳組合連合会	315ピン
30位	風間 英治	横浜シャツ商工組合	306ピン
40位	中久保賢紀	横浜シャツ商工組合	283ピン
50位	生田 友則	神奈川県印章業組合連合会青年部	265ピン
60位	堀内 裕司	技連協青年部 A	255ピン
70位	川上 敬洋	神奈川県印章業組合連合会青年部	234ピン
80位	山際 栄一	技連協青年部 B	212ピン



団体優勝 神奈川宝飾工芸組合Bチーム



個人優勝の田中義治さん  
(川上三實 会長と)



熱戦の会場風景

### ◆ 職人から学ぶ講座 ◆

横浜市勤労福祉財団・技連協共催「職人から学ぶ講座」は、毎回好評で、多くの市民の方々に参加をいただきました。これもひとえに技連協各団体のご協力の賜とお礼申し上げます。

- 「和服裁縫師から学ぶ浴衣の縫い方」 火曜コース  
神奈川県和服裁縫協同組合 五月二十日(七月二十日)(十回)
- 「和服裁縫師から学ぶ浴衣の縫い方」 金曜コース  
神奈川県和服裁縫協同組合 五月二十日(七月二十日)(十回)
- 「フロから学ぶおいしいコーヒーの入れ方」  
横浜市社交飲食喫茶業連合会 六月二十日(主)
- 「布団屋さんから学ぶ座布団の作り方」  
横浜寝具商工会 七月十三日(日)
- 「豆腐屋さんから学ぶ豆腐作り」  
横浜豆腐商工業協同組合 七月十三日(日)
- 「フロから学ぶペンキ塗りのコツと色の使い方」  
(社)神奈川県塗装協会 九月二十日(日)
- 「婦人服裁縫師から学ぶスボンとスカートの縫い方」  
神奈川県洋服組合連合会 九月三十日(十月十八日)(八回)
- 「フロから学ぶおしゃれなカクテル作り」  
横浜市社交飲食喫茶業連合会 十月二十六日(日)
- 「婦人服裁縫師から学ぶオーバーブラウスの縫い方」  
神奈川県洋服組合連合会 一月二十日(三月二十三日)(八回)
- 「和菓子屋さんから学ぶ和菓子作り」  
横浜市菓子協議会 二月十八日(水)
- 「豆腐屋さんから学ぶ豆腐作り」  
横浜豆腐商工業協同組合 二月二十二日(日)
- 「花屋さんから学ぶ桃の節句のアレンジメント」  
神奈川協横浜地区生花商協同組合 二月二十九日(日)
- 「経師屋さんから学ぶ掛け軸型色紙掛け作り」  
横浜表装インテリア協会 三月二十日(主)
- 「印章彫刻士から学ぶ篆刻作り入門」  
神奈川県印章業組合連合会 三月二十八日(日)

## 匠プラザ紹介 ■ その二

### 「職人・技能と暮らし」①

さて、外来職業の解説が終わると匠プラザの核心となる道具の展示となります。展示は衣食住生活の23職種にわたっていますが、全国的に見てもこれほど幅広い職種の道具を集めた展示は珍しいと言えます。集められた資料はつい最近まで当り前に使われたもので年配の方には面白味のない資料かもしれませんが、若い世代の職人さんにはこうした道具を使つたことがない、見たことがない世代であり、その重要性は年々高まっています。

展示は袖、大工、建具、鋸目立て、鳶、石工、造園、左官、タイル煉瓦、表具経師、畳、屋根といった職業の道具が壁面一杯に飾られた「住」コーナーから始まります。数多くの道具はそれぞれに見る人を魅了しますが、そのなかでも特に観客の目を引いているのが木挽き職の使った大型のコピキノコでしょうか。

コピキノコは、横浜では運河に立ち並ぶ材木屋で働く木挽き職が板や柱を製材するときに用いており、明治期に機械製材が発達するまでは製材の中心的な道具でした。鋸身は通常の鋸の3倍ほどの幅がありますが、これはまっすぐ正確に挽き切るための定規の役割を果します。鋸で挽くという



— 匠プラザの展示品 —

シンプルな仕事のため、切れ味が仕事の効率を左右したため歯を砥ぎアサリを調整する目立ても重要な仕事でした。浮世絵や職人尽絵にも木挽き職とともに目立てする職人の姿が描かれていることから目立ては木挽き職の特徴的な仕事だったことがわかります。木挽き職に限らず細工の出来や効率を左右する道具の手入れは、職人にとって欠かすことのできないことだったので。

今では目立てをするような鋸もまた仕事もなくなっているのです。地味ながら展示室のコピキノコと目立て道具は、職人の道具づかいのあり方を伝える立派な資料となっているのです。

## 青年部ダンスパーティーを開催

第二十四回青年技能者の夕べの取り組みとして、ダンスパーティーを三月十四日(日)、セルテ(中区真砂町)十二階の「ヨコハマリトルダーリン」で開催しました。多くの方の参加をいただき、オールディーズナンバーも加えた演奏で、盛り上がりました。



### ★理事の変更(敬称略)

- ・ 横浜食品煮豆惣菜組合  
理事長 鈴木邦夫(前 望月清三)
- ・ 横浜マイスター会  
会長 木村康夫(前 山本良樹)

### ★技連協の主な日程

- ・ 六月十五日(火) 常任理事会・理事会等
  - ・ 七月十三日(火) 総会・交流会等
- ※ 開催の通知・参加申込みは、後日各団体に連絡します。

### 事務局からのお願い

「技連協だより」では、今後も各団体の活動や技能職に関する情報を紹介していきます。各団体で行った研修会、イベントや記念式典・大会など情報のご提供をお待ちしております。

また、ご意見・ご感想がありましたらご遠慮なく事務局までお寄せください。